



2024年度
第23号

体育市民連帯 ニュースレター

大韓民国スポーツの

根本的变化を

皆さんと共に

作って行きたいです

体育市民連帯と共に

していただけますか？

1
パリのホームレス
数千人追放へ
「社会的浄化」
批判論



2
張ミラン
そして
浮かぶ時は
いつだ



3
公園、林道、川辺など
町内の随所に無料体育館
住民の
運動習慣を作る



4
スポーツ精神とは
何だろう？
オリンピックを見る前に
子供と読んでみましょう



5
人権委
全国少年体育大会など
9大会の人権状況を
モニタリング

6
丸坊主頭どこに？
甲子園が変わった
[競技場の内外]



01 中央日報 2024.06.04

パリのホームレス、数千人追放へ… 「社会的浄化」批判論



7月のオリンピック開幕を控えてホームレス数千人がフランスパリから追い出されたと英国日刊紙ガーディアンが3日(現地時間)現地活動家たちの話として報道した。

市民団体連合の「メダルの裏側」は今月報告書を出し、ホームレス数千人が「浄化」作業の一部としてパリから追い出され、この中には亡命申請者や子供なども含まれていると説明した。「メダルの裏側」は、パリオリンピック開催の社会的影響に対する警告活動を行う団体の連合である。

この団体はまた、警察が性労働者や麻薬中毒者も取り締まっており、これによって彼らが必須医療サービスと支援を受けられるネットワークから抜け出していると付け加えた。それと共に「政権が望ましくないと考える人々を皆追い出している」と主張した。

「メダルの裏面」は続けて昨年4月以後、パリと近隣地域のテント村解体が強化され、13ヶ月間に1万2500人余りがパリ地域外に追い出されたと明らかにした。そして、長期的な解決策を提供するためには、首都圏のイルドフランス地域に7000軒の家が必要だと話した。

ある団体関係者は、「当局が五輪の時にパリを引き立たせるために、パリで最も危険な人々を相手に『社会的浄化』作業をしている」とし、「彼らはカーペットの下に悲惨さを隠している」と批判した。

アン・ダルゴパリ市長はパリの街に数年間暮らしている約3600人に住居を提供するための計画を政府に要請したとし、パリ市は緊急住居提供に必要な役割よりさらに多くの仕事をすでにしていると主張した。

オリンピックを担当するパリのピエール・ラバダン副市長は4月の記者会見で、「問題はオリンピックではなく、パリの街に住んでいるホームレスの数だ」と話したことがある。

ガーディアンによると、4月のオリンピック開幕約100日を控え、パリ郊外の都市「ヴィットリー・シュルセン」に放置された建物に居住していた450人余りは鎮圧装備を備えた警察の退去要請を受け、居所を移した。CNN放送はフランス政府が毎週ホームレス50~150人をパリ外地域に移送したと報道した。

出典：<https://www.joongang.co.kr/article/25254095#home>

02 オーマイニュース 2024.06.10

張ミラン、そして浮かぶ時はいつだ



尹ソニョル大統領が近く断行する内閣改造で、張ミラン文化体育観光部第2次官を交代することが分かり、論議を呼んでいます。張次官が任命されてから1年も経っていないうえ、後任として有力視されている人物が核心の親尹人事だからです。一部では人事の背景として、張次官が前回の総選挙で大統領室の要

請にも出馬せず、目がくらんだという話が出ています。尹大統領の親疎関係によるどんぶり勘定式の人事スタイルが再び俎上に載せられました。

大統領室が昨年7月に張次官を任命する際に出した説明は、今回の人事構想の自己矛盾を示しています。大統領室は当時、「張ミラン次官は現場と理論を兼ね備えた人物で、体育も新しい風を吹き込んでほしいという趣旨で行われた人選だ」と自評しました。国民の力もまた「張ミランという国民英雄の名前に恥ずかしくない公正と常識を守り、公正な大韓民国を作るためにあらゆる努力を尽くす」と意味づけました。保守陣営からは「尹大統領がこれまで実施した人事の中で最もよくやった人事」という評価が流れました。張次官もこのような期待にふさわしく、親しみやすいイメージとともに文化やスポーツ政策などで十分な役割を果たしているというのが大方の反応です。彼女は就任後、体育人の人権保護や不正根絶などに力点を置き、最近パリオリンピック開催の準備や支援に努めたと伝えられています。文化体育観光部の内部でも「次官の業務がきちんと定着していく時点で変えるのは無理な側面が多い」という意見が大多数だそうです。

総選挙出馬拒否で政権の憎しみに打ちのめされたのか

与党の一部では、張ミラン次官の交代と関連して、前回の総選挙で出馬要求を断ったことが口実になったのではないかという解釈が出ています。大統領室では今年初め、いわゆる「6カ月次官」を大挙総選挙に出馬させ、張次官にも出馬を促したというのが定説です。国民の力では張次官の出馬地域区まで具体的に回し、張次官の総選挙出馬を既成事実化した状況で後任次官の名前が挙名されたりもしました。

しかし、大統領室の圧迫にもかかわらず、張次官は総選挙への出馬を頑なに拒否したと伝えられています。"政治に参加するつもりは全くない"と固辞したそうです。当時、体育界でも「国家的英雄をこのような方式で消費してはならない」として反発する雰囲気が強かったです。結局、大統領室は張次官の総選挙出馬をあきらめたが、その時からそれに対する否定的な認識が大きくなったというのが文体部周辺の観測です。

こうした状況で後任として親尹「護衛武士」と呼ばれる李ヨン元国民の力議員が事実上内定したことが分かり、論議は大きくなる様相です。当初、李前議員は大統領室政務首席室内の自治行政秘書官として議論されたが、最近親尹系総選挙の落選者に対する大統領室の「席取り」人事批判が大きくなると、職務が文体部次官に変わったという話が出てきます。李元議員はリュージュ国家代表選手出身で、体育界出身の人物という点が考慮されたといえます。

政界では、とっくに辞意を表明した韓ドクス首相は当分留任させ、パリ五輪を1ヵ月後に控えた時点で、主務次官を交代するのはとんでもないという反応が多いです。親尹側近に席を作ってあげるために、張次官を強引に追い出すことについても批判が提起されます。尹大統領の人事論難を挽回するために活用する時はいつで、今は追い出すのかという話です。総選挙惨敗後も、尹大統領の人事スタイルは変わりませんでした。

出典：

https://www.ohmynews.com/NWS_Web/Series/series_premium_pg.aspx?CNTN_CD=A0003037024&CMPT_CD=P0010&utm_source=naver&utm_medium=newsearch&utm_campaign=naver_news

公園、林道、川辺など町内の随所に無料体育館・・・住民の運動習慣を作る



7日、ソウル蘆原区下溪洞の京春線森の道の草むらで5歳の子供が青い卓球ラケットを手を取った。ワイヤーで固定された卓球ボールに向かってラケットを何度か振り回すと、ボールが「カン」という音を立てて当たった。午前の気温が25度近く上がった暑い天気だったが「面白い」と言って今度はフラフープを持って行った。隣では他の子供たちがヘラに取っ手がついた形のプレイスクープでボールをやりとりする遊びをした。

この日、1時間近く走り回った30人余りの子供たちは、近くの保育園の園児たちだ。昨年からの毎週運動器具を積んだトラックが来てからここを訪れる。トラックにはバドミントンなど見慣れた道具からフライングディスク・フロアボール・ティーボール・インディアカなど不思議な教具と投壺・輪回し・ユンノリまで持って遊ぶことが多いためだ。

3歳クラスの引率教師は「教具を用意して野外に出てくることは難しいが、ここは子供たちだけ連れてくれば色々な運動を自由にできるので良い」とし、「使い方と推薦教具を知らせる担当者もいてよく利用する」と話した。

蘆原地域の公園には曜日別に40種類余りの用品を積んだ1トンの搭載車がとまる。無料運動器具移動レンタル所「運動しに（来て）蘆原店」だ。バドミントンをしにわざわざ来たという孔陵2洞住民のキム・ブンオクさん（82）は「ラケットも貸してくれて、いろいろな人と運動もできる」と話した。

文化体育観光部の調査によると、満10歳以上の人口のうち、週1回30分以上定期的に体を動かす割合は62.4%水準だ。来年の高齢化社会への進入を控え、生活運動は市民の健康だけでなく、医療費削減のレベルで重要な話題となった。世界保健機関（WHO）は、満65歳以上に1日40分程度の身体の動きを勧める。

蘆原区関係者は「年齢に関係なくすべての住民が日常で身近に身体活動をしながらか運動する習慣を身につけるように色々なプログラムを開発中」とし「特に高齢層は歩きと筋力運動をどこでもできるように設計した」と説明した。

また、この日の林道では青年たちがバーベルを上げる・足押し、自転車など器具運動をする高齢者を対象に個人訓練(PT)を行った。区庁と協業する生活体育指導士たちが公園・河川沿いに用意された「公園ジム」を訪ね、正しい器具の使い方とバランスの取れた姿勢などを教えることだ。

「息は力を出す時に吸って、手足をほぐしながら吐いてみてください。太ももの筋肉に力が入っているか確認してください」

同じ時刻、中溪住公1団地のバドミントン場では60～70代の住民10人余りが集まって体操を始めた。全身をストレッチした後、軽い律動で体をほぐし、マンションの隣の堂峴川に出て20分ほどトゥルレキル（散歩道）を歩いた。仕上げは再び体操だ。カスターネットのようなスプーン2つで太ももと手足を打ちながら拍子を合わせ、歌が出ると拍子に沿って手を叩きながら体を動かす。

3月から11月にかけて、地域内の19の集結地で毎日開かれる「ヒーリングウォーキング」だ。ウォーキング活動家が研究して作った体操で体をほぐして1km程度を歩いた後、認知症を予防する認知運動まで一日最大1時間程度のプログラムで構成されている。

蘆原区体育都市課のチョン・ヘヨン主務官は「多くの人が体を動かす活動が高齢層の心理的安定にも役立つ、運動中に対話がなされる社会的情緒運動でもある」と伝えた。

区庁で歩く姿勢分析と指導法など理論・実習教育を受けた「歩く活動家」たちは正しく歩く方法を案内する。活動家たちは運動前の体の状態や食事の有無、睡眠時間などを点検し、高齢者たちのコンディションも確認する。

3カ月間、毎日ヒーリングウォーキングに参加しているチェ・ジグオンさん（71）は、「1日に少なくとも8000歩以上歩くので、体が軽くなり、痛いところが減った」とし、「一人では運動を始めるのが大変だったが、一緒にすると着実にできる」と話した。

出典：<https://www.khan.co.kr/local/Seoul/article/202406101606001>

04 ベビーニュース 2024.06.07

「スポーツ精神とは何だろう？」

「オリンピックを見る前に子供と一緒に読んでみましょう」

国立中央子供青少年図書館が2024年6月、司書推薦図書を発表した。国立子ども青少年図書館は2月から12月まで、隔月で幼児、小学校低学年、小学校高学年、青少年の本を推薦する。特に、6月と12月には特定テーマを設定し、5年以内に発行された図書の中から選定する。今年6月のテーマは「スポーツ」。7月26日に開幕するパリ五輪に対する子どもと青少年の関心を高める目的だと図書館側は説明する。「脚本のないドラマ」スポーツが与える熱い感動と人生、本で先に感じてみよう。

「水泳布団」ジェ・ヒ 文・絵、2021年 ©四季



「絵本『水泳布団』は『私は水泳が好きです』という子供の告白から始まる話だ。黄色い水泳帽をかぶった主人公は、楽しく水を漕いでプールから海へ、夢の中へ進む。姿勢と方向を変えながら水中を動く子供は、ただ楽しそうだ。作家は読者の視線を下に向ける俯瞰構図で、人々の水泳帽と海辺のパラソルを丸で表現する。その中で目につく黄色い丸に沿って行くと「チャムバンチャムバン」と足を蹴り、「グルグルルル」潜水するプールの音が聞こえてくる。最後のページで水泳布団をかぶって寝る子供の顔をじっと見て、再び最初のページに戻ってみよう。好きな水泳を思う存分楽しむ子供の夢が「サラッサラッ」始まる。梅雨ごとに色とりどりの青と踊りのように変わる波のイメージは、ひと泳ぎしたばかりの涼しさを与えてくれる。蒸し暑い夏休みを迎えた子供たちに清涼感と解放感を与える絵本だ。」 - 推薦の辞、チョン・ジへ

「脚本のないドラマ」スポーツが与える熱い感動と人生、本で先に感じてみよう。

「カタツムリ競走」イ・ヘイン著、2023年 ©キンダーランド



「日差しの良い秋の日、道路脇の茂みでカタツムリ競走が開かれる。賢く誠実な「ダルトク」、食べることが好きな「ダルトン」、疾風のように速くて力が強い「ダルプン」、心配性で小さな「ダルシム」が選手として出場する。出発信号に合わせて出発したカタツムリは、稲妻が降り、雨粒が降っても全力を尽くして激しく走る。彼らは前を向いて動くだけだ。そうするうちにゴールを控えて、後を追っていた「ダルシム」が倒れてひっくり返

ってしまう。一緒に走っていた友達はどうしたのだろうか？ のろのろ、ねばねばしたカタツムリと、速く走って1位を決める競走大会の調和は、読者にどのように迫るのだろうか。競争の結果が目標だけでなく、自分だけの速度で進み、友達と一緒に努力した過程を大切にすること子供たちに近づいてくる本だ。"- 推薦の辞、キム・テヨン

「オリンピック、どこまで知ってる？」キム・ユンジョン文、イ・スヨン絵、2022年 ©鯨が息づく図書館



「やってくる7月は4年ごとに開かれる世界人の祭り、オリンピックが開催される月だ。国際スポーツ競技はどのようにして世界中の人々の関心と愛を受ける祭りになったのだろうか？なぜ4年に1度開催するのだろうか？開催地は誰がどうやって決めるのだろうか？この本は、子どもたちが知りたがるような五輪に対する質問と答えを、2人の子どもたちの対話を通じて簡単に教えてくれる。オリンピックの起源から冷戦時代のオリンピック、大韓民国で開催された二度のオリンピックの物語、冬季オリンピックとパラリンピックの始まりまで扱う。オリンピックが発展することを願う未来の姿まで盛り込んでおり、幅広い理解を助ける。開催地と関連したおもしろくて有益な歴史的エピソードまで扱っており、オリンピックをテーマにした世界史も一緒に学べる本だ。子供たちと一緒に読んで、オリンピックをもっと楽しんでみるのはどう？」- 推薦の辞、ソン・ダウン

「マダニほどのサッカー選手はいない」フラン・ピンタデラ文、ラケル・カタリナ絵、キム・ジョンハ訳、2023年 ©多春



『マダニ』は町内最高のサッカー選手だ。毎週土曜日に素晴らしいプレーを披露するマダニには、裸足で走るサッカー選手という特別さがある。マダニの素足にボールが落ちた瞬間、サッカー場だけでなく世界中、食べ物を運んでいた食堂の従業員、さらには自動車まで止まってしまう。広場で大きな歓声が上がると、サッカー場の歓声は町中に広がり、マダニの家まで届く。裁縫をしていたマダニの母親も一緒に喜ぶ。マダニはしばらく前から羊毛の貯金箱に硬貨を集めている。節約のおかげで貯金箱は重くなった。マダニは友人たちに、このお金で市内で買い物をするだろうし、景気はるかに良くなるだろうと話す。友人たちは、マダニ

がついに新しいサッカーシューズを履いて試合をすることになり、今よりもっと素敵な試合をすることになると思っている。しかし、競技場に現れたマダニは裸足だ。マダニは貯金箱で何を買ったのかしら？試合が終わり、町の人々は実力も心もマダニほどのサッカー選手はいないということを知る。この本を読む読者は、マダニの温かくて深い心を感じるようになる。口元に笑みを浮かべながら「マダニほどのサッカー選手はいない」と繰り返すのではないか。"- 推薦の辞、キム・ネヒョン

「いきなりバレーボール」ユン・ジュソン文、キム・イジョ絵、2023年 ©ナムマルリ



「ただ怒られない程度に勉強してユーチューブを見るのが唯一の趣味である『ジワン』。そんなある日、叔父について行ったバレーボールの試合でブロックする選手たちを見て、初めて胸がいっぱいになり、ぴりっとした感情を感じる。バレーボールにすっかり惚れたジワンは、学校のバレーボール部を訪れ、背が低いという周辺の懸念にも関わらず、テストを経て堂々と部員になる。しかし、バレーボールが上手になりたいという気持ちとは違って、実力がぐんぐん伸びることはない。エースのホン・ハラムは、ジワンに「まともにやるつもりがなければ出て行け」とまで言う

が……。好きな気持ちでいきなり始めたバレーボール、ジワンは諦めずに最後までやり遂げることができるだろうか？ やりたいことも、好きなこともなかったジワンがバレーボールを通じて積極的に変化する過程を盛り込んだ本だ。生き生きと描写した試合場面を読みながら、バレーボールの規則と用語も一緒に身につけることができる。生まれつきの条件を責めないで、自分の長所を探して地道に練習するジワンと、一緒に汗を流しながら友情を築いていくバレーボール部の友達、正々堂々と最善を尽くして勝敗と関係なくお互いを尊重する選手たちの姿は、真のスポーツ精神とは何かを悟らせる。"- 推薦の辞、李セロム

「エースキム・ジュンス」朴ヒョンジョン文、リップ絵。 2023年 ©想像の家



「聴覚障害により人工内耳を装着して野球部で活動する 9 番打者『ク・ジュンス』はブログで会った『オム・ジウン』が転校してきて野球部に入団することになり、非常に当惑している。うっかりした嘘でジウンがブログの中の自身を野球部の同名異人である 1 番打者「イル・ジュンス」と勘違いしているが、これを正すことができなかつたのだ。これを知らないジウンは、自分に不機嫌に接するイル・ジュンスを不思議に思い、次第に誤解が積もる。一方、野球部のエース、イル・ジュンスは、「周りの過度な関心と圧迫感のため、野球がこれ以上楽しくなく、進路のための重要な試合もうまくいかない。子供たちの悩みと深まった葛藤は解決できる

だろうか？ この本は主人公各自の視線から眺める興味深い話を披露する。野球に本気な子どもたちがお互いを認め合い、元気な競争に成長していく姿を描く。特に障害を持ちながらも誰よりも情熱的で、友人との関係回復のために積極的に努力するジュンスが深い印象を残す話だ。"- 推薦の辞、チェソニア

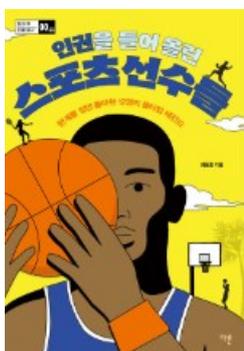
「一万回のダイビング (高飛び込み)」イ・ソンヒョン文 2023年 ©茶山書房



「限られた時間内での誠実さと地道さを通じた成長をスポーツほど鮮明に見せる分野が他にあるだろうか。「恐怖を乗り越えて美しさを作り出すこと」がダイビングという本の中の人物の言葉のように成長のために飛び込みを繰り返すダイビングを素材に全身を投げながら恐怖を克服する高校ダイビング選手たちの姿を描いている。スポーツ世界で勝敗と競争は必然的なので、嫉妬と羨望、誇りと時期が絡み合った感情は訓練過程で伴うが、それもまた自然なことであることを認識し、さらに成長する話が興味深く繰り返される。朝鮮戦争参戦勇士、保護終了

児童（訳注：児童福祉法で満 18 歳になると施設を出て自立しなければならない）など人生の多様な姿を見せながら、自分だけのやり方で子供たちを励ます良い大人たちの登場もまた深い印象を残す。上り下りを繰り返すダイビングの特性が思春期の青少年に対する豊かな隠喩で、一方では人間の人生を描いた作家の視線にも見え、さらに共感できる作品だ。"- 推薦の辞、ピョン・ユミ

「人権を取り上げたスポーツ選手たち」チェ・ドンホ著 2024年 ©タルン



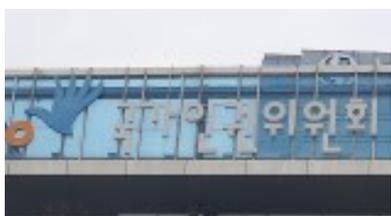
今や私たちの日常の一部となったスポーツは多くの人々の関心を集中させる。スポーツと絡み合った文化、歴史、哲学、政治を探索するのが楽しいというこの本の作家チェ・ドンホ。彼はスポーツを通じて挑戦を学んだ人々が与える感動と人権問題について深く考える場を開いて見せる。160センチの短身バスケットボール選手、初の女性マラソンランナー、国を失ったマラソンランナーが表彰台で頭を下げた理由など、登場人物たちの永続力に共感を与え、その過程を再照明する。スポーツに関す

る細かい常識を紹介し、読む楽しさを増してくれる。韓国社会が目指すべきスポーツ精神と限界を克服するチャレンジ精神は読者の関心を集中させる。 - 推薦の辞、シム・ウンジュ

出典：<https://www.ibabynews.com/news/articleView.html?idxno=117594>

05 KBS 2024.06.07

人権委、全国少年体育大会など9大会の人権状況をモニタリング



国家人権委員会(以下、人権委)が主要体育競技大会9大会に対する人権侵害状況を点検します。

人権委は先月14日に開催した第18回全国障害学生体育大会を皮切りに、主要競技大会9大会25種目に対する人権状況モニタリングをしてい

ると今日(7日)明らかにしました。

今年のモニタリング対象は9大会25種目で、去年の4大会11種目より大きく増えました。

具体的には、先月開かれた第18回全国障害学生体育大会をはじめ、第53回全国少年体育大会、2024年U-12幼少年野球大会、第42回大統領杯全国水泳大会、第105回全国体育大会、第44回全国障害者体育大会などがモニタリング対象です。

人権委は現場点検と選手・指導者・保護者など関連人に対する深層面談を通じて競技場・宿舍環境と人権侵害発生有無などを調べる予定です。

人権委はスポーツ人権意識向上と人権侵害予防のために、2019年から毎年主要競技大会が人権親和的に開かれるかを点検してきました。

人権委は「これまで競技大会モニタリング実施とスポーツ人権増進のための多様な制度改善を勧告し、その経過大会現場で選手に対する指導者の言語・身体暴力が顕著に減少し、負傷などに対する迅速な医療措置など人権状況が一部改善されたことを確認した」と説明しました。

出典：<https://news.kbs.co.kr/news/pc/view/view.do?ncd=7982351&ref=A>

06 チェ・ミンギョ 2024.06.08

丸坊主頭どこに？ 甲子園が変わった [競技場の内外]



日本の高校野球は「甲子園」に象徴される。毎年春と夏に開かれる高校野球全国大会、そしてこの大会が開かれる阪神甲子園球場の略称だ。

日本に居住する米スポーツジャーナリストのロバート・ファイティングは、甲子園大会をこのように描写したことがある。「坊主頭にした高校選手数

百人が出身地域を象徴する旗を前面に出し、節度をもって列をなして入場する。」ファイティングは日本野球に対する著書を数冊出したベストセラー作家だ。1977年に出版した本のタイトルは『菊とバット』だ。アメリカ人の観点から日本文化を扱ったルース・ベネディクトの名著『菊と刀』をオマージュした。異邦人の目で見えた日本の野球は、非常に見慣れない描写だ。高校野球大会の「坊主頭」もその一つだ。

日本の野球は長い間「根性」と「熱血」という単語に代表される「無限努力主義」を崇めた。一方では個人より集団を優先した。日本の近現代史と無関係ではない。ソウル大学奎章閣韓国学研究院のジョン・ジュンヨン教授は「日清戦争が起きた1890年代と軍国主義が支配した1930年代の日本野球で『根性』『集団』を強調する傾向が明確に現れた」と指摘する。坊主頭は根性と集団の象徴でもあった。

しかし、坊主頭は今、日本の高校野球で「少数派」だ。日本高等学校野球連盟の寶馨（たから かおる）会長は、甲子園球場開場100周年を迎えた今年のインタビューで、このような統計を紹介した。"部員の頭髪を剃髪する学校が26%まで減った"

寶会長は「以前はスパルタ式訓練や根性主義が高校野球で主流だった。練習中に水を飲めないようにしたり、投手が過度な投球数を記録することもよくあることだった」とした後、「『根性野球』の時代は過ぎ去っている」という見解を明らかにした。

根性の座を「科学」に代えようとする。寶会長は「高校野球をもっと現代的に変えたい。組織運営や情報発信、コミュニケーション方法等を新たにすることができる。野球を科学的に分析する努力も検討している。今は投球の回転数や回転軸、打者のスイング、打球のスピード、飛距離などを分析できる。データを基盤に技術向上と負傷防止を成し遂げたい」と述べた。

昨夏の甲子園大会の優勝チームは神奈川県代表の慶應義塾高校だった。野球特技生が皆無の学校の優勝で話題を集めた。もう一つの話は「頭髪」だった。日本の高校野球は韓国式に表現すると「エリートスポーツ」と「生活体育」が共存している。甲子園大会の本選に出場して良い成果を上げる学校の多くは、野球の特技で入学した部員が主軸だ。大体、このような学校の野球部員たちはおどおどしている。しかし、8月23日、仙台育英高校との決勝戦で最後のアウトを取った後、グラウンドを走る慶応選手たちの髪の毛は「サラサラ」揺れていた。典型的な坊主頭ではなかった。

髪の毛が短いからって野球が上手なのか

慶応野球部のモットーは「エンジョイ ベースボール（野球を楽しめ）」だ。同校の森林貴彦監督は、同校法人傘下の小学校教師をしながら野球部を指導している。彼は高校までは野球部の選手だったが、大学では平凡な法学徒だった。大手企業のNTTで職場生活をしてきたが、高校野球の指導者になりたくて退職した。その後、筑波大学でコーチ学を専攻し、指導者になる準備をした。

森林監督は今年1月、韓国アマチュア野球関係者や父兄などを対象にオンライン講演を行った。彼は「日本でも『エンジョイ ベースボール』に対する誤解がある。笑って楽しみながら野球をしようというのではない。より高いレベルの野球を楽しもうという趣旨だ」と説明した。彼が考える「より高いレベルの野球」は過去の古い野球と対極点にある。一部を紹介すると次のようになる。

「日本には勝つことがすべてだという『勝利至上主義』を信奉する人が多い。勝つために手段と方法を選ばず、それで選手酷使など悪いことが起きた。高校野球はそれ以上の価値を追求しなければならない。自分の幸せを自ら追い求める時代だ。自ら考え、選択し、実行できることが必要である。野球もそうしなければならない。高校時代から自ら考える力を野球を通じて身につけることを目指す」

「選手が『監督の言うことに従ったらこうすることができました』と言う野球を追い求めない。「自ら考えてみたらできました」と言えなければならない。野球はチームや他の誰かのものではなく、選手自身のものだ。それで自分だけの野球をしなければならない。困難な点があれば、これを助けるのが指導者の役割だ」

『エンジョイ ベースボール』は日本野球の古い価値観と戦っている。 集団に自分を合わせる同調圧力、変化に消極的な旧態依然さ、指導者と選手、先輩と後輩の間の上命下服と絶対服従、自ら考えずに慣れたことに従う固定観念などだ」

大韓野球ソフトボール協会によると、韓国的高校野球には頭髪に対する規定がない。しかし、ほとんどすべての野球選手がスポーツ型で髪を短く刈る。クラブ野球チームのアプティブ BC を指導するユ・ジョンミン監督（54）は、15年から昨年までソウル高校野球部を担当した。彼はソウル高校時代に「頭髪自由化」を実施した監督だ。ユ監督は「最初は頭髪について何の考えもなかった。慣れ親しんで当然のことと思った。ところが1〜2年ほど経つと「あえて短い髪を固守しなければならない理由があるだろうか」という気がした。短い髪で選手と一般学生の間には差をつけるのが不便になった」と話した。

選手たちは喜んだ。ユ監督時代、ソウル高校は自律を重視する気風で有名だった。自由な頭髪がソウル高校の特徴を見せてくれるという自負心が徐々に生まれた。もちろん反対もあった。ユ監督は「野球界や同窓生から『学生選手らしくない』という反応が出た。しかし、気にしなかった。髪を短く切ったからといって、野球が上手だというわけではないのではないのか。結局、指導者は選手が野球が上手にできる環境を作るのが役割だ。無理に選手を引っ張っていかうとしてはいけない」と話した。

昨年、ワールド・ベースボール・クラシック（WBC）で国家代表チームが惨敗した後、韓国野球の危機に対する様々な診断が出た。そのうちの一部は高校野球に向かった。「格好いい学生選手」を批判したり、「（過去の高校野球に比べて）情熱と真正性が萎縮した」という主張もあった。ユ・ジョンミン監督はこのような見解に反対する。彼は「結局、昔のように『精神力』を重視しようという話だった。正直腹が立った。日本の野球が捨てている古いものを固守する指導者がまだ多い」と話した。

出典：<https://www.sisain.co.kr/news/articleView.html?idxno=53068>

07 週間スポーツニュース

済州道体育会、APEC 誘致祈願家族と都心の外郭を歩く

<https://news.kbs.co.kr/news/pc/view/view.do?ncd=7983307&ref=A>

第 17 回江原道障害者生活体育大会、今日開幕

<https://news.kbs.co.kr/news/pc/view/view.do?ncd=7983501&ref=A>

2024 年前半期の競艇最強者は… 19 日、体育公団理事長杯王中王戦が開幕

<https://news.tf.co.kr/read/sports/2105302.htm>

京畿道、今年新設体育人など計 6 つの「機会所得」を年内に支給

<https://www.sportsseoul.com/news/read/1435874?ref=naver>

パークゴルフ場の体育施設が登録される… 民間ゴルフ場造成ラッシュ展望

https://www.news1.com/view/?id=NISX20240609_0002765300&cID=10201&pID=10200

「2024 年甕津郡協会長旗サッカー・バレーボール大会」終了

<https://www.wikitree.co.kr/articles/958100>

全州室内体育館建設「着工」… 652 億ウォンかけて 2026 年竣工

<https://www.yna.co.kr/view/AKR20240610054300055?input=1195m>

大韓スケート競技連盟、2024 年氷上国家代表ワークショップ実施

<https://mksports.co.kr/view/2024/414149>

パーキンソン病も治せなかった信念… 差別と闘った「伝説のボクサー」天へ

<https://news.mt.co.kr/mtview.php?no=2024053114532277752>

体育市民連帯オンライン 定期後援案内

万人が楽しむスポーツ世界、体育市民連帯が共に作ります。

私達連帯の活動に積極的に賛同していただくことを願います。

私たち体育市民連帯は体育人の権益保護と
福祉実現のために努力しています。
皆さんの小さな心づかいがより良い世界のための
体育市民連帯活動に強固な土台となります。
体育市民連帯会員として力になろうと
される方は下の口座に後援お願いします。

国民銀行 086601-04-095940

口座名義：体育市民連帯

オンライン定期後援は下のリンクを通じてホームページからできます。

多くの関心をお願いします。

体育市民連帯 ソウル市 瑞草区 瑞草洞 孝寧路 230 スンジョンビル 407 号

Tel : 02-2279-8999、E-mail : sports-cm@hanmail.net ホームページ : <http://www.sportscm.org/>

日本語訳：佐藤好行 新日本スポーツ連盟 国際活動局 韓国担当 jr1fep@gmail.com

週刊ニュースレターバックナンバー（資料室） <http://www.yg.jp.org/sportscm/index.html>